



有田町 議会

令和3年 6 月定例会 だより



No58

素直な子どもを育む三つの子！

- ・ハイ！と返事のできる子
- ・ありがとうと感謝の気持ちをもつ子
- ・思いやりの気持ちをもつ子



議会だよりでは未来の“タカラモノ”である有田の子どもたちを紹介しています。



有田町立くわこば保育園 外観

CONTENTS

◆令和3年度一般会計補正予算(第2号) P2～
1億8474万円を増額補正

一般会計予算総額 115億4115万円に

■委員会報告 P5～

■一般質問 12人が町政を問う P8～

令和3年7月30日 発行

有田町 議会だより

NO.58 6月

主な補正予算を紹介

農業水路等長寿命化・防災減災事業 (事業費5005万円)

近年頻発する豪雨により、ため池が決壊した場合、地域住民の生命・財産へ甚大な被害がおよぶ恐れがある。このため、防災重点ため池に選定した箇所のため池ハザードマップを作成し、災害発生時における住民の防災意識の向上に繋げたい。今回 98 箇所のため池ハザードマップを作成予定である。



▲令和元年度に作成したハザードマップ（丸尾地区）

西有田中学校屋内運動場改修事業 (事業費4171万円)

西有田中学校体育館は、以前から雨漏りが確認されており、使用に支障があるため改修予定。



▲西有田中学校屋内運動場（体育館）

令和3年4月専決処分

令和3年度一般会計補正予算(第1号)⇒8441万円を増額し、
一般会計予算総額113億5641万円に

(事業名) 肉用牛肥育農家生産支援事業

(内 容) 肉用牛肥育農家生産支援金 740万円

町内肉牛の生産を維持するため、生産に係わる経費の一部を支援し、営農意欲の維持、経営の安定化を図る。

(事業名) Web 有田陶器市 PR 等支援事業

(内 容) Web 有田陶器市 PR 等支援補助金 300万円

陶磁器関連事業者の事業活動継続の下支えを行うため、Web 有田陶器市の PR 等に要する経費を支援する。

CONTENTS 目次

P2 補正予算

P4 議案審議

P5 委員会報告

一般質問

12人の議員が執行部と活発な
議論を繰り広げました

P8 岳川 災害に強いまちづくりを

P9 樋渡 窯跡を観光目的等で利用の計画は

P10 諸隈 ふるさと納税の増税改善策

P11 原田 持続化支援金基準の見直しは

P12 松永 曲川小の雨漏りとトイレ整備は

P13 池田 防災行政無線受信機の無償貸与を

P14 中島 町民全体への新たな経済対策は

P15 手塚 歴史遺産を活かした観光振興を

P16 古賀 陶器市を11月開催要望

P17 今泉 交付税が普通算定になり大丈夫か

P18 梶原 学生や若者連携で町の活性化を

P19 福島 ヤングケアラーへの支援は

コロナ禍対応策に小中学校新型コロナ対応緊急
対策事業をはじめ各種事業を新たに追加

令和3年6月議会定例会は、6月1日から11日まで11日間の会期で開催された。
一般会計予算を1億8474万円増額補正し、
歳入歳出予算の総額が115億4115万円となり、
前年同期比に比べ15.5%の減となった。
(一般会計補正予算(第2号))



山谷大堤▶

■一般会計の主な事業

(単位：万円)

事業名	内 容	補正額
小中学校新型コロナ対応緊急対策事業	修学旅行等キャンセル料補助金	1200
有田町飲食店応援キャンペーン事業	補助金	1100
ひとり親以外の低所得者世帯生活支援特別給付金給付事業	ひとり親以外の低所得世帯生活支援特別給付金他	1922
クリーンパーク運営事業	浸出水処理施設増強整備発注支援業務委託料	△550
農業水路等長寿命化・防災減災事業 (ため池ハザードマップ)	ハザードマップ作成委託料	5005
社会資本整備総合交付金事業 (南原原宿線道路改良事業)	工事請負費・道路改良補償費他	△6829
社会資本整備総合交付金事業 (道路防災 小溝原穂波ノ尾線他)	工事請負費・調査委託料	△2215
西有田中学校屋内運動場改修事業	屋内運動場改修工事請負費他	4171

特別会計・企業会計補正

○特別会計	○国民健康保険特別会計	100万円	(傷病手当金)
	○介護保険特別会計	26万円	(認定システム改修業務委託料他)
○企業会計	○水道事業会計	51万円	収益的支出(その他委託料)
		1640万円	資本的収入(建設改良企業債)
		60万円	資本的収入(他会計負担金)
		1720万円	資本的支出(配水管布設替工事)

令和 3 年 6 月議会議案の審議結果（一部抜粋）

議案番号	提 出 議 案	審議の結果
議案第44号	専決処分(令和3年度有田町一般会計補正予算(第1号))の承認を求めることについて	賛成全員
議案第45号	令和2年度有田町公共下水道事業会計決算認定について	賛成全員
議案第46号	令和2年度有田町農業集落排水事業会計決算認定について	賛成全員
議案第47号	令和2年度有田町浄化槽整備推進事業会計決算認定について	賛成全員
議案第48号	令和2年度有田町水道事業会計決算認定について	賛成全員
議案第50号	有田町手数料条例の一部を改正する条例について	賛成全員
議案第53号	令和3年度有田町一般会計補正予算(第2号)について	賛成全員
議案第54号	令和3年度有田町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について	賛成全員
議案第55号	令和3年度有田町介護保険特別会計補正予算(第1号)について	賛成全員
議案第56号	令和3年度有田町水道事業会計補正予算(第1号)について	賛成全員

ピックアップ



▲有田の町並み

議案第53号 令和3年度有田町一般会計補正予算(第2号) 有田町まちなか賑わいづくり支援事業

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けている商店街や各種団体等が、まちなかの賑わいづくりを目的に、地域外からの誘客を図り、感染予防対策を講じたうえで開催する、イベント等に対する補助制度である。

議案第44号 専決処分(令和3年度有田町一般会計補正予算(第1号))の承認を求めることについて 公共施設感染症対策事業

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、役場本庁舎、福祉保健センター、多世代交流センター「ゆいたん」、生涯学習センター、東西図書館などの公共施設や避難所に、非接触で体の表面温度を自動測定するサーマルカメラを12台整備した。



▲役場本庁舎入口に設置されたサーマルカメラ

産業建設常任委員会

商工、環境、農林、土木建設、上・下水道、農業集落排水、浄化槽、宅地分譲などに関することについて審議します。

(委員会構成議員 5人)

委員長 梶原 貞則

副委員長 久保田 均

▼令和2年度有田町公共

下水道事業会計決算認定

岳川委員 未収金の説明とその対応は。

上下水道課長 未収金に

ついては、営業未収金と営業外未収金とその

他未収金がある。営業

未収金は下水道使用料

で、3月に請求を行っ

た分は4月に入金とな

る。営業外未収金は主

に消費税の還付が年度

を超えて還付される分

また、その他未収金は

受益者負担金の未収残

高の分である。随時、

督促状を出すなどして

対応している。

手塚委員 接続数が91件

増だが、計画通りに進

んでいるのか。また、

説明会の予定は。

上下水道課長 例年10

0件弱の増加であるため予定に近い数字である。今年度は、ミ二集会などを開催したい。

▼令和2年度有田町農業

集落排水事業会計決算認定

梶原委員 接続件数が2

件増加しているが、新

築による増加なのか。

上下水道課長 2件のうち

1件は新規接続、あと

1件は再開開始による

ものである。

▼令和2年度有田町浄化

槽整備推進事業会計決算認定

梶原委員 令和2年度の

接続が40件だが、目標

は何件だったのか。ま

た、令和3年度の説明

会などの実施予定は。

上下水道課長 浄化槽設

置基数の目標は61件で

ある。浄化槽区域の方

を対象に、ミ二集会な

どを実施したい。

▼令和2年度有田町水道

事業会計決算認定

手塚委員 水道料金未納

額の年度別状況のグラ

フで、令和2年度が令

和元年度より10倍ほど

多いがその説明を。

上下水道課長 令和2年

度の未納額には4月に

入ってくる3月請求分

が含まれているため、

多額となっている。

▼令和3年度有田町

一般会計補正予算

(第2号)

原田委員 野焼きに

ついて、地域住民

から洗濯物に、に

おいが付くので、

夕方等にお願ひし

たいとの要望が出

ている。

住民環境課長 苦情

などには現地に出

向き、近隣への配

慮をお願いしてい

る。

岳川委員 農業水路

など長寿命化・防

災減災事業の廃止

ため池は、水を抜

くように指導があ

っているが、町は

調査済みなのか。

また、水を抜くと

産業廃棄物の捨て

場になるという心

配があるが、全部

水を抜く必要があ

るのか。

建設課長 台帳記載

がない小さいため

池については、す

上程された全ての議案は全員賛成で可決すべきものとなりました。

べて町で調査を行い、各地区の区長へ場所などを説明している。廃止ため池事業は西日本豪雨災害の折に、管理をされていないため池が決壊し、下流の民家へ被害を与えたことをきっかけに、国の100%補助により、水を溜めない状態にすることとなった。



▲浄化槽設置工事の様子



▲ため池改修工事の様子

文教厚生常任委員会

民生、保健、医療、福祉、介護、教育に関することについて審議します。

(委員会構成議員 5人)

委員長 今泉藤一郎

副委員長 蒲原多二男

の方が0・7%。町内で11人。

▼有田町敬老祝金支給条例(3月議会継続審査案件)

今泉委員

委員より修正動議が提出され、審査協議の結果 満年齢77才(喜寿)と88才(米寿)で5千円。100才(百寿)で8万円の祝いを支給する。

▼有田町重度心身障害者の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例

藤委員 重度心身障害者の区分割合と、追加の精神障害者手帳1級の方は何人か。

健康福祉課長 身体障害者手帳1級・2級の方が98%、療育手帳Aの方が1・3%、身体障害者3級で療育手帳B



▲雨漏りのため改修予定の西有田中学校体育館

▼令和3年度有田町一般会計補正予算(第2号)

諸限委員

DV被害者支援基本計画の説明を。

子育て支援課長 5年ごとに策定する必要がある。何件か相談はあるが重大な案件はない。今後とも注意は必要だ。

福島委員

低所得世帯生活支援特別給付金の説明と、ひとり親世帯への支援は。

子育て支援課長 国のコ

ロナ対策で住民税非課税世帯の高校生以下の子どもを対象に一人5万円を支給する。県では、生活を支えるための貸付制度や就労支援、養育費等に関する相談窓口もある。

諸限委員

子どものフクチン接種はどのくらいか。

健康福祉課長 国の方針で12歳から15歳までの接種が可能となり、具体的なやり方などは今後決めていく。

藤委員

学校管理費で補正が組まれているが、当初予算の組み方はどのように行っているのか。

教育長 学校の事務官と学校教育課でヒアリングを密にしているが、当初予算編成後に故障し、放置できないものを補正予算で計上している。

今泉委員

予算が潤沢にあれば、当初予算で余裕をもって組めると思



▲歴史と文化の森公園

うが。

財政課長 予算組みは枠配分で行っている。歳入不足で余裕をもって予算を計上する事は難しく、老朽化した学校も多いので、維持管理も見極めながら検討が必要。

蒲原委員

購入するサッカーゴールはどこに設置か。全国的にも事故が多いが安全管理確認は。

教育長

購入は円山運動公園で、けがや事故が起きないよう安全第一に点検や注意喚起を促

していく。

福島委員

西有田中学校屋内運動場改修事業の説明を。

学校教育課長

雨漏りによる屋根の修繕と電気設備の改修を行う。可能なら換気扇の増設も考えたい。

今泉委員

歴史と文化の森公園管理事業は、コナ禍で指定管理の運営は大丈夫か。

生涯学習課長

収入は減少しているが、県や国の補助金を活用して、赤字にはなっていない。

▼有田町予防接種健康被害調査委員会条例の一部を改正する条例

▼令和3年度有田町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

▼令和3年度有田町介護保険特別会計補正予算(第1号)

上程された全ての議案は全員賛成で可決すべきものとなりました。

総務常任委員会

総務に関すること、他の委員会に属しないこと、全般について審議します。

(委員会構成議員 6人)

委員長 古賀 四郎
副委員長 松永 俊和

▼有田町手数料条例の一部を改正する条例

松永委員 改正案には個人番号カードの再発行にかかる手数料800円が記載されていないが。

住民環境課長 今まで町条例に基づき、町で徴収していたが、法改正に伴い、地方公共団体情報システム機構が行うことになり、町は徴収を委託される形で、手数料は町に入らず、条例より外れた。

▼令和3年度有田町一般会計補正予算(第2号)

歳出

中島委員 ふるさと納税推進事業関連で佐賀県産品に有田焼の指定がない理由は。

総務課長 町は登録していない。登録した場合、町や事業所にどのような影響があるかを協議したい。

古賀委員 大町町のふるさと納税返礼品のHPで有田焼として掲載してあるが問題はないか。

総務課長 有田町と大町町は令和元年11月1日、返礼協定を結んでいる。**樋渡委員** マイナポイント事業はいつまでか。

住民環境課長 9月まで延長になった。

樋渡委員 保育園対策総合支援事業の説明を。

まちづくり課長 町内の保育園では感染予防のため、空気清浄機等の備品や消耗品を購入予定。

私立保育園や認定こども園に対しては、補助金対応で行う。

松永委員 小中学校新型コロナウイルス対応緊急対策事業の修学旅行等キャンセル料補助金の説明を。**まちづくり課長** コロナナ

これからは手放せない!
マイナンバーカード

お早めに! 申請は

健康保険証として使える!

スマートフォン連携が便利!

0120-95-0178



▲有田町消防団夏季訓練の様子(令和元年8月11日)

ているが、有田町消防団への対応はどうしているのか。また、報酬額が県内でも低い方なので検討をお願いする。

総務課長 直接支給は準備ができ次第行う予定。

報酬額は県内市町の状況を確認して考慮する。

中島委員 直接支払い導入後の各分団の運営費はどうか。

総務課長 各区からの消防団への補助金や活動費等でまかなって欲しい。

上程されたすべての議案は全員賛成で可決すべきものと決しました。

中島委員 消防団員の年間報酬や出勤費は各個人へ直接支給するよう、総務省より指導があっ



岳川 淳彦 議員

災害に強いまちづくりを

答 地域の皆様と連携し防災に取り組んでいく

災害・防災関連

議員 災害に強いまちづくりについて町長の所感は。

町長 災害はいつ起きてもおかしくないのが、地域の皆様と連携しながら守っていく、一人ひとりが防災マップを参考に避難所等の意識付けをする。10年前と災害に対する意識が違ってきているので、地域で防災に取り組んでいきたい。

総務課長 町民が住みやすく安心して生活できることが、一番の災害に強いまちづくりと思う。

5月20日に災害対策基本法が改正された。災害時に市町村が発令していた避難勧告を廃止し、避難指示に一本化するというもの。

なお、改正内容については広報の6月号に

記載している。

議員 各地区の危険箇所状況で緊急を要する箇所はどれくらいあるのか、またその対応は。

総務課長 5月26日に町内5箇所の防災パトロールを行った。河川1箇所、ため池2箇所、山林1箇所、昨年の災害箇所1箇所の危険箇所の現状を把握したので、今後の対策工事等を行う。



▲氾濫寸前の河川

議員 自然災害対策で風水害（ダム、ため池、河川等）に対して事前の備えはできるのか。

建設課長 ため池については昨年から調査していた小さなため池の調査を終え、位置図、台帳を作成し今年の3月末までに区長に配布している。

上下水道課長 ダムについては気象予報において、協定で定められた基準降雨量が予想される場合は、その影響分を事前に放流するようにになっている。昨年度は、ダムの水位を50cmから1m程度下げて対応している。

建設課長 河川については河川内の支障木伐採を県河川で7箇所、町河川4箇所、浚渫工事1



▲いちごハウスでの収穫

農業振興

議員 さが園芸生産88億円推進事業の現状と事業の周知徹底は。

農林課長 令和元年にきゅうり、玉ねぎ部会さらに2年度にアスパラ部会が設立され、さが園芸生産88億円計画が作成されている。キャラバン隊も結成されており、それぞれの部会ごとに周知を行っている。

議員 新規就農者の現状と、町として新規就農者を増やすための工夫は。

農林課長 新規就農者については、国の農業次世代人材投資事業で採択される、50歳未満の方である。年間150日農業に従事する認定新規就農者については、関係機関が一体となって毎月就農相談会を行っている。

窯跡を観光目的等で利用の計画は

答 観光目的でも有田らしい整備は必要



樋渡 徹 議員

登り窯跡の管理

議員 有田町内で管理されている窯跡は何カ所か。

文化財課長 県の遺跡台帳に登録されている窯跡は66カ所である。大半が私有地で、町が草刈り等管理している窯跡は9カ所である。



▲古窯跡の案内板

議員 1998年に旧有田町教育委員会が発行した「有田の古窯」には、50カ所の町内古窯跡群詳細分布報告が掲載されている。

国指定、県指定は、どこで、それぞれ何カ所か。また、町独自の

指定された窯跡もあるのか。

文化財課長 国指定は、天狗谷、山辺田、原明、柿右衛門の4カ所。

県指定は、小樽2号

町指定は、稗古場、天神山、掛の谷、猪子谷、迎原の5カ所である。

議員 窯跡を観光目的等で利用の計画はあるのか。

文化財課長 公有地化されている窯跡については、観光目的でも有田らしさや窯業の伝統を肌で感じていただけるような整備は必要と思う。

議員 「物原」が以前は盗掘で荒らされていたが、現在はイノシシにより露出しているところがある。対策は。

文化財課長 私有地は原則として所有者が管理することになっているが、さらなる破壊が危惧される場合は、町

が関与する場合もある。



▲「物原」の露出した陶片

議員 高齢化している監視員の交代についての対策は。

文化財課長 町が委嘱している監視員については、現在年齢的な問題は無いと思うが、県の委嘱者には町は関係ないので、県との交渉をお願いしたい。

新型コロナウイルス
ワクチン接種

議員 75歳以上の高齢者から始まった接種申し込みは、開始時点で

電話が繋がらないとの苦情が多かった。Webでの申し込みも他の市町では入力が簡単なシステムもあった。当町独自のシステムか。

健康福祉課長 それぞれの市町で、システム会社との契約となっている。

議員 高齢者は遠方のお孫さんとの通話でLINEは慣れておられるが、町ではLINEの利用はできないのか。

健康福祉課長 現行システムでは利用はできない。

議員 寝たきりの方の訪問接種や、予約自体が分からない方への対応はどうされるのか。

また、電話の契約がない世帯や生活のサポートが必要な世帯などについてはどうか。

健康福祉課長 寝たきりの方については、介護をされている方に接種会場に連れてきて頂

く。無理な場合は往診で対応する。また、サポートが必要と思われる場合は、民生委員の見守り活動の中でお願いをしている。

社会奉仕に関する教育

議員 町内では、集落ごとに防災目的の意味も含めて川や溝の清掃等も行われている。子どもたちだけでやるということではなく、大人と協力しての活動も危険性や被害の可能性を教わることが重要で意味があると思う。学校で、社会奉仕に関する教育は実施されているか。

教育長 学習指導要領にボランティア活動も明記されている。学校内のみでなく、家庭や地域での学びも重要であるとの認識を持っている。



諸隈 洋介 議員

ふるさと納税の増税改善策は

答 定期的に協議を行っていく

ふるさと納税の増税改善策は



▲有田町ふるさと納税HP 楽天サイト

議員 3月議会でも質問をしたが、その後3カ月での改善の進捗は。 **総務課長** 3月に有田町、商工会議所、まちづくり公社で「有田町ふるさと納税の活性化計画」として3者協議を行なった。協議で出た問題点を克服するた

た、エントリーする業者は商社、窯元を問わず公正な基準で選ぶべきである。 **総務課長** 今後も商工会議所との協議を行いながら、是正すべき点を含めて協議する。 **議員** 3月議会で町長は「ガバメント・クラ

めに、商工会議所内に専門家集団を立ち上げ「ふるさと納税活性化事業ス

タートアップ会議」を開催して定期的に協議する。 **議員** ふるさと納税の基本理念は参加事業者が売りたい物ではなく、納税したくなる魅力のある返礼品を掲載することが重要である。また、エントリーする業者は商社、窯元を問わず公正な基準で選ぶべきである。 **総務課長** 「ガバメント・クラウドファンディング」とは、自治体が行う寄付制度で自治体が抱える課題や問題解決のため、寄付金の使い道をより具体的にプロジェクト化し、そのプロジェクトに共感した人たちが寄付を募

ウドファンディング」の活用を前向きに検討すると発言された。創立150周年を迎える有田小学校のPTAや地域の方より強い要望がある、有田小学校が所蔵する「シードマイヤー製のアップライト型ピアノ」の修復を「クラウドファンディング」を活用してその費用を捻出できないか。



▲シードマイヤーピアノ

る仕組みで寄付者の意思が反映できる、ふるさと納税の新しい形態である。 **町長** 積極的に進めたいと考える。当時の人の教育に対する熱い思いの産物なので、ピアノの修復とそれ以外の案件も含めて検討し、進めたい。 **議員** 95年前の貴重なピアノを修理して長く大切に使うことは教育文化の継承だと思つので実現を強く要望する。

コロナワクチン接種予約の不備の検証と対策は

議員 予約当初は混乱もあったが、その後は是正されたのか。 **健康福祉課長** 当初の予約受付はコールセンターの電話4回線で、かなりの混乱が生じた。またインターネット受付方法がわからない方も多く、ご迷惑をおかけした。対応策として電話回線を6回線に増やし、福祉保健センターロビーにインターネット受付用のパソコンを3台設置して、予約受付のサポート体制を整えた。 **議員** 今後の予約については年齢区分を細分化して予約の混雑を解消し、ワクチンの供給が順調ならば、9月末までに希望する全町民に対する接種を完了する予定である。

持続化支援金 基準の見直しは

答 支援のあり方を再度検証したい



原田 一宏 議員

コロナ支援

▽飲食業支援

議員 県の飲食店時短要請に伴う、有田町の飲食店支援の実績は。

商工観光課長 5月31日付で、76店舗、1368万円である。31日消印有効なので、若干増えるかもしれない。

議員 県は、売り上げに応じて再支援を行うが、町はどうか。

商工観光課長 今後、協励金としての支援は行わない。

議員 有田町飲食店応援キャンペーン事業の詳細は。

商工観光課長 今後のコロナ感染の状況により、飲食店での消費喚起を図るための支援事業を考えている。詳細はこれからになるが、町民に対しても、何らかの特典がある内容を検討していきたい。

▽持続化支援金

議員 事業者持続化支援金（法人10万円、個人7万円）の現状は。

商工観光課長 6月1日現在で、申請208件（法人107件、個人101件）、支援金額1777万円である。

議員 県は、売り上げ減の事業者に対し、応援金を交付したが、売り上げ減50%という要件が厳しかったために、今回5月補正で、売り上げ減20%に緩和した応援金を交付した。町は、売り上げ減10%を基準にしていたが、国や県、町の給付金を収入とみなす条件のために、申請できなかった事業者が多いと聞いている。基準の見直しは考えているか。

商工観光課長 今回の支援申請は、6月30日までだが、支援のあり方を再度検証して、今後新たな支援策を実施

する場合は見直しを検討したい。

▽未来へつなぐ有田焼支援事業

議員 事業の内容は。

商工観光課長 単なる取り組み継続ではなく、オンライン販売強化など、事業環境の整備や、首都圏における新たな展示会出展、コロナ禍対応の新商品開発の取組、ものづくり現場の見学施設整備にも支援できればと思っている。

ワクチン接種関連

議員 高齢者接種の予約率は。

健康福祉課長 70歳以上（施設入所者・病院入院者含む）で、80%以上である。

議員 キャンセル状況とその対応は。

健康福祉課長 若干だが出ている。キャンセル

◎新型コロナワクチン接種計画

※6月2日時点の計画のため、変更になっている可能性があります。

区 分	接種券発送日	接種開始日	接種終了予定
①町内診療所の医療従事者		4/26	5月下旬頃
②75歳以上	4/12	5/7	6月下旬頃
③70～74歳	5/12	5/17より受付開始 (5/17以降で予約枠が空いている日)	7月上旬頃
④65～69歳	5/20	6/1より受付開始 (6/1以降で予約枠が空いている日)	7月下旬頃
⑤基礎疾患、高齢者・障害者施設等従事者	6/15	6/21より受付開始 (6/21以降で予約枠が空いている日)	ワクチンが計画どおり供給されれば、9月中に、接種を希望する全ての町民の接種が完了する予定。
⑥60～64歳	6/15	6/23より受付開始 (6/23以降で予約枠が空いている日)	
⑥居宅介護サービス従事者及び保育従事者	6月中旬以降		
⑦55～59歳	6/15	7/1より受付開始 (7/1以降で予約枠が空いている日)	
⑧50～54歳	6/15	7/5より受付開始 (7/5以降で予約枠が空いている日)	
⑨上記以外の人	6月下旬以降	未定	

議員 接種済証明書等の発行は。

健康福祉課長 接種券の台紙に済シールを2回貼ることになっているが、国からこれといった書式の指示はない。要望していきたい。

町長 国として、統一した見解がない。経済を動かすためにも、国に訴えていきたい。

ル分は事前登録していただいた高齢者施設従業員に接種している。
議員 9月半ばまでには接種完了の予定となっているが、見通しは。
健康福祉課長 現在、一定量が、安定的に供給されており、県内他市町より接種ペースは早い。今後安定供給を要望して、早期完了を目指したい。



松永 俊和 議員

曲川小の雨漏りとトイレ整備は

答 雨漏りは本年度中に修理する予定

曲川小学校の整備関連

▽廊下の雨漏り対策

議員 曲川小学校の1階・2階の廊下天井が雨漏りしている。強い雨だと毎回バケツを置き対応しているようだ。1階のトイレはカビが発生している。現状の把握は。



▲雨漏りしている曲川小学校トイレの天井

学校教育課長 北校舎2階の廊下およびトイレの天井。2階渡り廊下の天井と南校舎ひさし部分を確認した。

議員 雨漏りの原因究

明と早急な対応策を。

学校教育課長 雨漏り箇所はフラットな造りの陸屋根部分で、原因は経年劣化による防水層の剥離や亀裂によるものと思われる。今年度中に修理を行いたい。

議員 曲川小学校の洋式化進捗は。

▽トイレ洋式化整備

議員 曲川小学校の洋式化進捗は。

学校教育課長 全体の38力所のうち、洋式は12力所で、進捗率は31・6%である。学校からの要望もあるが、全小学校の予算も見ながら進めている。

▽トイレ環境整備

議員 トイレの環境が悪い。町民からの声で、「狭い・臭い・町内で一番旧式のまま」など指摘された。他校の状況を見に行ったが、施設の新しい、古いなどの差はあるがトイレ内の雰囲気はよく、明る

く、風通しも良かった。また、24時間換気扇を回し対応されているが、トイレのにおいが、1階・2階の廊下に充満して臭かった。洋式化も行ってほしいが、まずはにおいの対策を早急に行ってほしい。

児童が多い。80〜90人

弱の児童に対し部屋が手狭でコロナ禍の中、先生たちは3密にならないよう、ソーシャルディスタンス対応に苦慮されている状態だが、現状の確認は。また、新型コロナウイルスの影響はま



▲曲川小学校トイレの様子

学校教育課長 においは排水口や便器の清掃の仕方改善するので、対応したい。

▽放課後教室の拡充

議員 中部・曲川小学校の放課後教室は利用

底している。曲川小学校の場合は、民間事業所が来年度に20人収容の児童クラブを開設予定と聞いている。

町長 放課後教室は、民間でも行われている。6年生まで利用できるようになり、スペースの確保が厳しい。また、学校の教室を利用するには新たな受け入れ体制や人員確保も必要。現段階では難しい。

特定危険家屋対策

議員 屋根材や外壁材が飛散して、住民が困っている。台風季節が来る前に、町の方で対処してほしい。

◇その他の質問

・防災・減災の対策
・防災士との連携など

防災行政無線 戸別受信機の無償貸与を

答 まず高齢者世帯に絞って検討したい



池田 栄次 議員

戸別受信機の無償貸与

▽補助制度の利用状況

議員 町は平成25年6

月に、防災行政無線の情報を的確に受信できるよう戸別受信機の補助制度を制定したが、

総務課長 防災行政無線の難聴地域に61台、

聴覚障害者に15台を貸与した。集落の資金で

全戸配置されたのが59台。補助制度での購入

は12台である。

議員 8年も経って12

台では如何なものか。災害多発の現況から

も理解し難い。執行部の熱意も問題だ。町長の率直な所感を。

町長 8年前に要綱を制定した時から積極的に推進すべきだった。

一方で町は、ケーブルテレビのテロップ等で

災害危険情報を周知する補完機能を整備して

きた経緯もある。

▽制度の見直しが必要

議員 補助制度は戸別

受信機の設置を促し、住民個々がいち早く危

険を察知するためだ。普及しやすい制度に見

直しが必要ではないか。**総務課長** 制度の目的

は指摘の通りである。普及しないのは個人負

担(22,000円)の高さが一因だと思う。補助率も見直したい。



▽他市町の配置状況

議員 平成31年に国は、

各自自治体に戸別受信機の無償貸与等に係る地

方財政措置の拡充を通知している。その結果

全国で一部配布を含め75・4%の自治体で整

備されている。県内での普及状況はどうか。

総務課長 県内10町のうち、3町が希望者に

無償貸与をしている。近年の災害の発生状況

から町も、今後の防災対策として検討が必要

だと思っている。

して70%を特別交付税で措置する」としてい

る。3カ年計画等で無償貸与ができないのか。

総務課長 国のいろいろな施策等を探ってい

きたい。まず高齢者世帯等に対象を絞り、協

議していきたい。



▲防災行政のための戸別受信機
(サイズ：縦16.5cm×横19.5cm×幅5.5cm)

▽全戸に無償配置を

議員 国の通知では、

各市町が「戸別受信機を単独で無償配備した

場合、地方財政措置と

町長 県内で無償配布

をした町にも経緯等を聞き、有田町としてど

う取り組んでいけるのか協議を進めたい。

▽地区ごとの災害対策

議員 国も各自自治体

に、千年に一度の大災害を予測した災害対策を求

めている。町も地区ごとのハザードマップを

策定したが、その後の対策が見えない。

総務課長 本年度は各地区で危険箇所のチェ

ックや避難所・避難経路の確認など、平時か

らの防災意識の向上を目的に自主防災組織リ

ーダー研修を開催する。また台風や局地的豪

雨等、自然災害の軽減を目的に廃止ため池の

調査や整備工事に取り組み、16河川の護岸補

強と浚渫も行っている。更に避難所対策とし

て、体育センターの屋根工事やスポーツク

ラー6台、大型ストーブ6台、自動計測体温

計6台、マット100セットを購入するなど、

災害発生に備えている。



中島 達郎 議員

町民全体への新たな経済的救済策は

答 困っている所にいかに手を差しのべられるか検討・研究する

コロナ禍の財政運用は

議員 第3次地方創生臨時交付金の使途は。

まちづくり課長 第3次交付金1億5千707万8千円のうち4月に専決補正した8千411万4千円を差し引いた7千266万4千円を6月補正に充当し、飲食店応援キャンペーン事業等12事業を計上した。

議員 仮に第4次臨時交付金がある場合は。

まちづくり課長 現在、交付金の情報はない。今後、もし交付措置があれば、コロナ禍の中、将来に向けた地域経済を回す事業等に充したい。また実際に交付措置がなされれば、充分検討していきたい。
議員 財政調整基金等の取り崩しで、町民全体への新たな救済策を。
町長 町民の皆様が困

っているところに、我々執行部がいかに手を差しのべていけるのか検討、研究していく。

将来への人材育成は

議員 スティーム教育にアグリカルチャー（農業）を加えた町独自のスティーム教育の実践を。

まちづくり課長 有田

有田型 STEAM 教育：有田のまちが教室になる“CREAT the next ARITA”

◎STEAM（スティーム）教育とは、Science（科学）、Technology（技術）、Engineering（工学）、Mathematics（数学）を統合的に学習する STEM（ステム）教育に Arts（リベラルアーツ）を統合した教育手法 *グローバル社会に対応の人材教育



STEAM 教育に、さらに Agriculture（農業）を統合した....

STEAMA（スティーマ）教育の実践を！

型のスティーム教育を目指すために現在、詳細な内容について調整を行いながら、作業を進めている。スティーム教育は、最終的には学校教育現場における教育の推進ではあるが、基幹産業である窯業、農業を将来的に支えていく人材育成に繋がるのがスティーム教育だと思う。例えば ICT を活用した授業の一環として、農業と関連づけた内容などを検討したい。

教育長 有田の町が教室になることから、有田の様々な素材を取り上げながら進めていきたい。現在、有田型として、どのように捉えて進めていくか模索している。早急に学校教育に盛り込

むのではなく徐々に形成して、学校教育に浸透させていきたい。また農業分野も含め、子どもたちが有田町の課題を捉え、自ら解決すべく町長に提言できれば素晴らしい。単に「調べ学習」で終わるのではなく、確実に社会の課題を解決し、地域創生のような形に繋がるようになればと考える。

町長 スティーム教育は、有田の子どもたちが時代の変化に対し、適応能力を兼ね備え、社会変化を予測する能力、問題を解決する力、問題点を見抜く力を持つためにも必要。また保護者にも理解してもらえるシンポジウムも計画したい。
議員 型製作等の窯業技術の継承者育成指導者の登録制人材バンクの設置を。
まちづくり課長 人材

活用のみならず働き方を考えるという側面もあり、不足する人材や必要とされる人材を活かしていくことも大切である。

商工観光課長 過去に人材バンク等の制度化の構想もあったが、進展していない。特にこの分野は後継者不足でもあり、制度化は必要だが、どう活かすか考える議論も必要だ。



▲大落の滝（竜門ダム）

◇その他の質問
・主権者教育とは
・遊休普通財産（旧山谷保育園）に多目的避難所（兼スポーツ・文化研修合宿所）を

歴史遺産を活かした観光振興を

答 有効利用を考えていきたい



手塚 英樹 議員

観光振興について

▽天狗谷窯跡の整備

議員 この窯跡は、世界に誇れる観光資源である。当初の整備計画では登り窯の復元も計画されていたが現在の状況は。

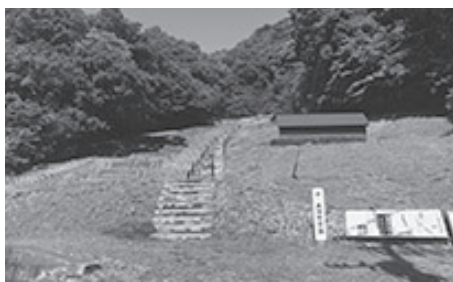
文化財課長 窯跡整備は平成21年に行い、10年経って老朽化も目立っている。現在窯跡整備の計画は無い。過去に窯跡整備を2度も縮小中止している。当初の整備計画では、窯の復元も計画していたが、

実行できていない。現在整備計画がないので復元は難しい。窯跡整備には多額の予算が必要。町民、議会から強い要望があれば、新たに整備検討委員会を設置して検討することになる。この窯跡は内山ブランドデザインで観光資源として魅力的な場所である。

議員 天狗谷窯跡に対する町長の思いは。

町長 天狗谷窯跡整備は予算があれば行いたい。内山ブランドデザイン検討委員会の中で意見も聞きながら、今できることを検討したい。

議員 天狗谷窯跡を観光資源、歴史史跡として整備検討を。



▲天狗谷窯跡

▽有田陶磁美術館の活用

議員 この美術館は明治7年に建てられた石蔵を利用した建物で、

昭和29年に佐賀県登録博物館1号として開館。当時世界に3つしかないやきもの専門美術館で県内外から来館者を迎えた。現在の状況は。

文化財課長 利用状況は平成29年度3846人、平成30年度5319人、令和元年度4816人、令和2年度1598人となっている。

議員 企画展があると集客が伸びている。若手の作品発表の場としての利用はできないか。

文化財課長 民間へ貸し出していない。

議員 佐賀銀行の跡地に美術館の移築は。

文化財課長 重要伝建物の移築は、現在の場所で開催があるため、移築など伝建の価値が下がることはできない。

町長 移築は、文化庁の許可が難しい。

議員 移築が可能であれば陶山神社・美術館・西洋館・天狗谷窯跡



▲有田陶磁美術館

と並び、商工会議所跡地も有効に利用できる考えたが、できなくても観光資源としての連携をお願いしたい。

スマートシティ構想

議員 マイナンバーカード申請で日本一の石川県加賀市は申請率70%を超えている。加賀市の市長は「マイナンバーカードはスマートシティを推進する上で最も重要なインフラ整備だと捉えている。」

と考えている。有田の加入状況は。

住民環境課長 人口19361人中、交付は4898人。率にして25・3%である。

議員 全国平均が15%前後なので有田町は健闘している。加賀市では本年度中に100種類の行政手続きができるようにすることであるが有田町では。

住民環境課長 住民票、印鑑証明書、所得証明書等の発行がコンビニでできる。加入促進のために事前予約で第2

第4日曜日、毎週木曜日19時30分まで行っている。新型コロナが収束すれば出張受付を行う予定である。

議員 加賀市ではカード取得者と申請者には「かが応援商品券」五千円券を配布して交付率を上げているが。

町長 有田らしいやり方を考えてみたい。



古賀 四郎 議員

陶器市の11月開催は

答 何らかのイベントを協議中

陶器市

議員 7月にオリ・パラ開催が予定されており、7月末までに高齢者のコロナワクチン接種の終了が見込まれる中、接種先進国では経済活動が以前の状態に戻りつつある。

当町においても感染の拡がりを注視しつつ、国内の自粛ムードからの脱却の機会と捉え、本年11月に陶器市の開催を要望する。

商工観光課長 コロナの感染状況を見ながら、何らかのイベント開催に向けた協議を進めている。

議員 昨年、今年と2回中止に追い込まれている陶器市の持つインパクトは大きい。また集客性や話題性、そして業界では売上の期待があり、町民の臨時アルバイトや、駐車場

等の収入が期待できるので、イベントの開催をするなら陶器市がふさわしいと思うが。



▲有田の町並み

町長 陶器市となると県や会議所、各組合と共に協議が必要になってくるので、他イベントと共に検討したい。

コロナワクチン接種

議員 接種状況は関係者の多大な努力により順調に進んでいるが、余剰ワクチンの処理はどうしているのか。

健康福祉課長 余剰が

でないように6又は5の倍数で予約を受けているので廃棄はない。

議員 今後、キャンセルや余剰分で事前に希望者登録をした方に接種できるようお願いしたい。

健康福祉課長 介護従事者の接種状況を見ながら考えたい。

新庁舎建設

議員 両町合併より15年が経過した。新庁舎建設審議会の答申で、新庁舎は、新町の中央付近から利便性の良い場所へと、場所の定義が変更された。

本庁舎は築18年になり、協議会の答申通り新庁舎建設の計画を立ち上げるべきでは。

町長 新庁舎は建設審議会に諮り、予算面等考慮しながら判断する。

議員 場所は旧有田町

民は有田駅付近、旧西有田町民は現庁舎付近が最適だと思うのは、当然の事である。

将来の町運営の在り方で、自治体財政の先細りが予想され、人件費の抑制、仕事の効率化や住民サービスの充実、また観光行政の集中化等の観点により、東西出入り口2カ所を設けた、有田駅ビル兼新庁舎建設を提案する。

まちづくり課長 現時点では、新庁舎建設の予定はなく、協議も行っていない。将来的な



▲庁舎の国旗と町旗

財源の一つとして合併振興基金を積み立てている。

保育園民営化

議員 建設計画を立案し、建設の具体化を図るべきだ。

議員 協議中の案件ではあるが、在園中に指針が変更された場合、その指針は卒園するまで変更できないと解釈するのが妥当ではないか。

現在、町立保育園を民営化する話は、今後入園される園児の保護者の理解を得た上で進めるべきだと思う。また、経営変更するよう場合は、全ての保護者の同意を得なければならぬのではないかと。子育て支援課長 理解を得るため、保護者の方々と協議を重ねる予定だ。

交付税が普通算定になり大丈夫か

答 様々なところに影響を及ぼすと思う



今泉 藤一郎 議員

▽財政状況の現状

議員 令和3年度の当初予算では、町税収入全般で約1億5000万円も減少しているが、個人・法人町民税の現状と今後は。

税務課長 コロナウィルスの影響により、個人町民税は当初予算で前年度から約5000万円減少。法人町民税は令和2年度収入額が約4000万円減少。この状況が長引けば更なる減収が想定される。

▽生活上必要な経費

議員 町民の生活支援に要する扶助費は、年々増加しているが。

財政課長 平成22年度は約12億円で、令和元年度が約16億円と増加している。

議員 財政調整基金は令和2年度末見込みで約23億円である。今年度末までに約5億5000万円の取り崩しを

予定している。将来的に財政運営は大丈夫か。

財政課長 基金は減少傾向にある。支障がないようにしていきたい。

議員 合併以来15年の間には、旧2町が存在する事で地方交付税の上乗せが4億9000万円もあつたようだが、今年度からは通常算定となる。その影響は。

財政課長 財政調整基金から5億5000万円を取り崩して予算編

成を行っている。想定以上に少子高齢化が進み、また公共施設の老朽化に伴う改修等が非常に多いため、懸念している。基金にも限りがあるため、慎重な財政運営が必要と考える。

議員 後期高齢者医療費の推移は。また、一般会計からの繰り入れは約3億8600万円だが、今後可能か。

健康福祉課長 推移は、平成28年度は31億2000万円だったが、令和元年度は35億5000万円となり、今後も増加傾向にある。

財政課長 特別会計も企業会計も継続的な運用が必要なので、必要な繰り出しはしていく。

▽貴重なふるさと納税

議員 ふるさと納税が収入の依存財源になっていないか。

財政課長 臨時的な財源なので、学校給食等

けられるか。

まちづくり課長 まちづくりの可能性が広がり、合併支援を活用し、様々な投資事業ができた。また、道路網の整備や生活基盤、観光振興、行財政改革を進める中で職員数を減らすことができた。

議員 今後は抜本的な見直しと、具体的な経費節減が必要だが。

財政課長 決算剰余金で財政調整基金に積み立てたとしても、現状では減額していく。

小中学校や町立保育園等、公共施設数、職員数等を維持しながらの削減は非常に困難で厳しい。持続可能な状況にするには、町全体の財政規模を縮減する必要があり、公共施設の民営化や人口規模に見合った施設の統廃合等を早急に検討し、計画的に進める必要がある。

議員 合併の効果はどのようなところに見受

1. 町税 (単位: 千円)

款	項	令和3年度		令和2年度		対前年度比較	
		予算額(A)	構成比	予算額(B)	構成比	増減額(A-B)	増減率
1	町税	1,584,006	14.1%	1,734,395	15.1%	▲150,389	▲8.7%
1	町民税	639,000	5.7%	713,800	6.2%	▲74,800	▲10.5%
	1 個人町民税	574,000	5.1%	623,300	5.4%	▲49,300	▲7.9%
	2 法人町民税	65,000	0.6%	90,500	0.8%	▲25,500	▲28.2%
2	固定資産税	783,154	7.0%	827,945	7.2%	▲44,791	▲5.6%
3	軽自動車税	71,732	0.6%	72,500	0.6%	▲768	▲1.1%
4	町たばこ税	90,000	0.8%	120,000	1.1%	▲30,000	▲25.0%
5	入湯税	120	0.0%	150	0.0%	▲30	▲20.0%

※「構成比」は、予算総額に対する比率です。

	財政調整基金	減債基金	その他特定目的基金	計	増減率
H29残高	20億9,668万円	1億3,978万円	35億1,665万円	57億5,311万円	14.9%
H30残高	22億4,444万円	1億4,013万円	39億8,151万円	63億6,608万円	10.7%
R元残高	23億2,593万円	1億4,043万円	45億1,419万円	69億8,056万円	9.7%
R2残高見込み	23億 579万円	1億4,068万円	49億9,724万円	74億4,371万円	6.6%
R3残高見込み	17億6,035万円	1億4,091万円	50億 359万円	69億 485万円	▲7.2%

※上記には、特別会計・公営企業会計の基金は含まれていません。



梶原 貞則 議員

学生や若者連携で町の活性化を

答 若者の声を聴く場を作っていきたい

地域活性化

議員 中高校生が地域の魅力や課題を学んで将来像を考える佐賀新聞社主催の「さが未来発見塾」が開催され、中学生6人が策定した「未来計画」が町長に提案されたとのことだが、どう受け止めたか。

町長 「プラン1・JRやMRの駅のホームに明るい絵を描く。また町の情報のQRコードを描いた有田焼タイルの設置」については、MR蔵宿駅にて検討中。プラン2・空き家を再生し民宿としての活用、及び有田焼の体験施設としての活用」については、ワーケーション施設や、民間で空き家再生利用を模索している企業があるので、そこを連携していきたい。せっかくの若者の提言なので、一つでも

多く具現化していきたい。

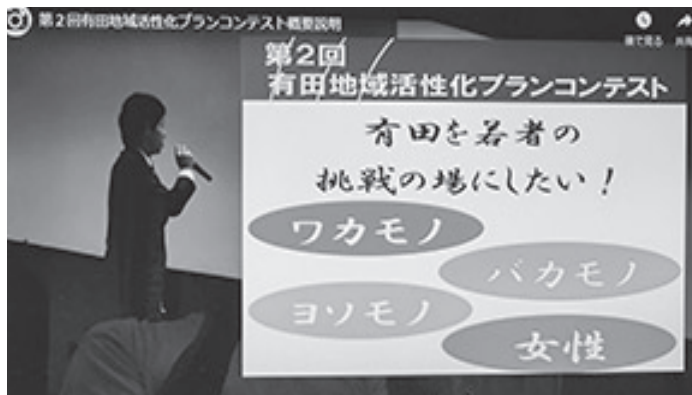
有田地域活性化プランコンテスト

議員 有田地域活性化プランコンテストは、陶都有田青年会議所の主催で佐大生や多くのボランティアを得て、2012年から、2014年にかけ計3回開催された。対象は、地域活性化に興味のある大学生や熱い志を持った大学生。1回目は21人、2回目は18人、3回目は15人の学生が全国から自費で集まり、有田の活性化について議論し、多くのプランを提言していただいた。こういう若者の提言を聴くイベント

を再開してはどうか。

町長 現在、大学や佐賀銀行を交え、SDGsを絡めた、産官学金による、学生たちの提言による町づくりイベントを計画中である。

議員 福井県鯖江市では、今年で14回目の地域活性化プランコンテストを開催予定である。



▲地域活性化プランコンテスト概要説明

ストを開催予定である。今まで継続してきた結果、若者が残り、地域

観光活性化

議員 WITHコロナ時代に、富裕層向けの、少人数の安心安全な旅行プランづくりを計画してはどうか。

町長 観光課長 こういうコロナ禍では、今までのような団体旅行と異なり、プレミアムな旅行が普及していくも

活性化を考え、集まっている。福井県内で、唯一人口が増加しているとのこと。このような学生や若者の連携による町の活性化を望む。

町長 今後、佐賀大学やAPUなどの学生も絡め、若い感性、若者の声を聞く場を作っていきたい。



▲現在の石場相撲場の屋根

のと思う。近隣の自治体とも連携したプランを考えたい。

施設の整備

議員 泉山相撲場の屋根は悲惨な状態であり、早急な修理を望む。

町長 生涯学習課長 11月の石場相撲大会前までには修理予定である。

ヤングケアラーへの支援は

答 学校教育と関係機関との連携が重要



福島 日人士 議員

ヤングケアラー支援

議員 兄弟や家族の世話をする18歳未満の子どもを「ヤングケアラー」という。厚生労働省は文部科学省と連携し、ヤングケアラーの実態調査を行った。この調査では、約5%の生徒が世話をしている家族がいると回答した。そのうち6割超が誰にも相談したことがないという状況だが、どのように認識しているか。

学校教育課長 ヤングケアラーは法律上の定義はないが、本来は大人が担うと想定されるような家事や家族の世話などを日常的に行っている18歳未満の子どもたちであるとされている。国の担当者は「誰にも相談したことがない」など表面化しにくいこと自体が問題であると指摘した。

議員 調査では学業や進路のサポートに加え、家族を預かる支援施設を増やしてほしいなどの回答もある。今後は学校と町の連携が必要では。

キルアップを図りながら、ソーシャルワーカーやスクールカウンセラー、関係機関との情報共有が重要であると考ええる。

教育長 学校は異変に

中高校生を対象としたヤングケアラー全国調査

	世話をしている家族がいる	世話を必要としている家族	
中学2年	5.7% 約17人に1人	きょうだい	61.8%
		父 母	23.5%
		祖 父 母	14.7%
		そ の ほ か	3.8%
		無 回 答	9.4%
高校2年	4.1% 約24人に1人	きょうだい	44.3%
		父 母	29.6%
		祖 父 母	22.5%
		そ の ほ か	5.5%
		無 回 答	8.8%

(厚労省と文科省のプロジェクトチームによる)

学校教育課長 学校生活の中では、宿題ができていない、学校を欠席しがちななど、学校は生徒の異変に気付きやすい場所でもある。ヤングケアラーという問題に対し教職員とのス

学校は異変に気付きやすい場所であるので、教職員が意識を持つことが大切である。子どもたちとの信頼関係を構築し、相談しやすい雰囲気を作っていく。子育て支援課、健康福祉課との連携が重要である。

新型コロナウイルス接種

議員 新型コロナウイルスの第4波から感染力が

強い変異株の猛威があり、ワクチン接種に対し、副反応等過剰な心配をされている。予防効果と安全性は。

健康福祉課長 変異株

については基本的には現在、今のワクチンで効果がある。

議員 ワクチン接種後の、アナフィラキシーなどの重いアレルギー症状の発症は。健康福祉課長 現在、軽度の方はあられるが、重度の方の報告はない。

桜ヶ丘公園関連

議員 公園内の男子トイレの改修、バックネ



▲桜ヶ丘公園の老朽化したバックネット

ットの改修は。建設課長 建設課が管理しているトイレは9カ所あるが、中には個別小使器がないところもある。この公園のトイレは比較的新しい簡易水洗であるので、現在のところ改修予定はない。また、バックネットは危険防止のため撤去する。

陶 祖 祭 (陶山神社)

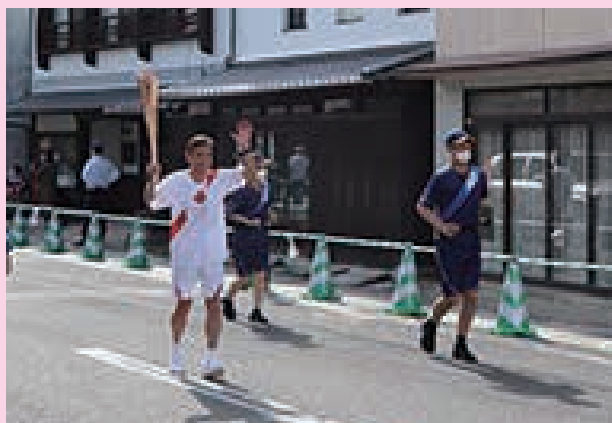
令和3年5月4日(火)有田焼の祖である李参平翁の偉業に感謝する「陶祖祭」が、コロナの影響で規模を縮小して、関係者のみで行なわれました。議会からは松尾議長が参列しました。



陶祖祭の様子 ▶

オリンピック聖火リレー

聖火リレーが旧東出張所前から石場広場まで約4kmにわたり、町内をかけ抜けました。ランナーとして岩永義次氏や内田琢馬氏（有工卒業）ら8人とボランティアとして議会から2人が参加しました。



▲岩永義次氏



▲内田琢馬氏（有工卒業）

■議長交際費支出状況（令和3年4月～6月）

項目	件数	支出額	備 考
会費	1	5,000円	有田料飲店組合定期総会会費として
合計	1	5,000円	



👉 令和3年3月議会定例会より、会議録（一般質問のみ）を一般公開しています。

議会広報発行特別委員
委員長 福島日人士
副委員長 古賀四郎
委員 諸隈洋介
委員 岳川淳彦
委員 中島達郎
委員 樋渡徹

ドイツ製のピアノが有田小学校に寄贈されて95年が経つ。価格は家一軒分といわれ、地域や窯業界の教育に対する熱意に頭が下がる。当時の世相が気になり調べると、スペイン風邪の流行直後で、教師や役人の長時間労働と政治家のモラルを含めた質の低下、体罰、新聞への批判、なりすまし詐欺、若者の読書離れ等がある。最近メディアで多く取り上げられている社会問題が、大正末期にはすでに起り議論されている。歴史は繰り返されるとはこのことであり、歴史を学ぶことの意味をコロナ禍で深く考えさせられる。洋介

あ
と
が
き